



No.843 2021年
12月6日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 常盤 達雄

エルダーも
プロパー若手も
ベテランも
みんなで取り組む
組織拡大

柔軟な働き方の実現について

各支社 提案される

今日は駅員さん、明日は運転士が現実!

なんでもさせると体制の構築

駅業務に運転業務、さらにイベントも

国労東日本本部は、JR東日本から5月26日に、駅および一部の乗務員区の再編成(統括センター化・営業統括センター化)を中心とした「柔軟な働き方の実現について」の提案を受け、2回の本社交渉を行いました。

その後、10月下旬から準備ができた支社から提案が始まっています。また、標準数の変更について従来は効率化施策の際に示してきましたが、駅と乗務員の込み運用を想定しているため、今後ダイヤ改正提案に併せ、別途提案するとしています。
(詳しくは業務連絡報を参照)

主な内容

- 複数の本体駅と周辺エリアの委託駅・無人駅を一つの現業機関として統合する。一部個所では乗務員区も統合する。乗務員区が入る場合の名称は「統括センター」。乗務員区が入らない場合の名称は「営業統括センター」。
- 全ての現業機関で職名を統合する。
- 【例】…事務主任・営業主任・輸送主任・乗務主任・車両技術主任・施設技術主任・電気技術主任などは、全て「主任」とする。
- 発足は、2022年3月ダイヤ改正時。

今回の施策は「業務の融合」という方針のもと、今日はA駅、明日はB駅といった勤務が常態化していくことになり、乗務員区が入る「統括センター」においては、今日は駅員、明日は運転士といった働き方が当たり前になります。

また、本来業務以外にも、増収活動やCS活動、さまざまなイベントなどを行うっていく方針であり、委託会社とも従来以上に連携を強化していく中身になっていきます。設備系職場からも「兼務」という形でこうした活動に参加し、JESSSなどの委託会社とも「連

携」という形で関係を深めることで、本業に生かしていく事を期待するとしています。コロナ禍で収入が激減する中、各駅や職場横断プロジェクトでは、さまざまなイベント活動などが始まっています。しかし、明け番や休日を使つてやらざるを得ず、労働時間管理ができていないケースが散見されていることから、今後はそうした事態が、より深刻化していく懸念が深まっています。

柔軟な働き方改革 各支社提案状況(11/20現在)

(主に本体駅を記載、実際には委託駅・無人駅を含む、一部のセンターは仮称)

●横浜支社	
各センターの円滑な運用に向け、関係社員の兼務発令、必要な教育、業務融合に向けた試行。その為の勤務種別変更などを行う。地区の役割は各センターに移管	
根岸営業統括センター	桜木町駅～洋光台駅間各駅
湘南相模統括センター	相模線全線・湘野辺駅～橋本駅間・藤沢駅～大磯駅間・茅ヶ崎運輸区・橋本CTCセンター
小田原伊豆統括センター	二宮駅～伊東駅間各駅・CTCを含む熱海運輸区(7月予定)
●八王子支社	
円滑な移行に向け、11月1日に現場社員を交えたワーキンググループを設置する。現在の地区センターは各営業統括センターに統合。	
三鷹営業統括センター	三鷹駅・武蔵小金井駅・国分寺駅
立川営業統括センター	立川駅・府中本町駅・東所沢駅
八王子営業統括センター	八王子駅・豊田駅・高尾駅
拝島営業統括センター	拝島駅・青梅駅・高麗川駅
大月営業統括センター	大月駅・塩山駅
甲府営業統括センター	甲府駅・竜王駅・韮崎駅・日野春駅・小淵沢駅
支社管内全域を6分割。乗務員区はいずれも入らない「営業統括センター」	
●千葉支社	
木更津統括センターは、木更津地区に所属。木更津統括センター長は木更津地区駅長を兼ねる。	
木更津統括センター	木更津駅(木更津地区指導センターを含む) 君津駅・横田駅・久留里駅・木更津運輸区
●長野支社	
小海線営業所を廃止し、小海線統括センターを新設する。	
●新潟支社	
庄内統括センター	酒田駅(地区センター含む)・鶴岡駅・酒田運輸区
範囲は鼠ヶ関駅～酒田駅間各駅	
●仙台支社	
山形統括センター新設に向けた準備を11月1日より開始する。関係社員への兼務発令や、業務融合に向けた試行のための勤務種別変更などを行う。	
山形統括センター	山形駅(地区センター含む)・米沢駅・今泉駅・山形運輸区(山形支店を含む)
範囲は板谷駅～東根駅間・米坂線今泉駅まで・仙山線面白山(信)まで	
●秋田支社	
横手統括センター	横手駅・横手運輸区
秋田営業統括センター	秋田駅・土崎駅
東能代統括センター	東能代駅・東能代運輸区
弘前営業統括センター	弘前駅・五所川原駅

現業機関における柔軟な働き方の実現について

ある支社の業務融合イメージ

駅	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
交代		担当業務	改札業務	担当業務	企画業務
			改札業務		改札業務
			変形	担当業務	管理駅巡回
				企画業務	
運行室	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
車掌		車掌業務	企画業務	特別改札	車掌業務
運転士相互運用		運転士業務	車掌業務	特別改札	
車両		検修・入換業務	改札業務	検修・入換業務	技術管理業務
			検修・入換業務		検修・入換業務

これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を進め、私たちの成長意欲・チャレンジを具現化できるフレキシブルな組織(職場)で一人ひとりの活躍フィールドを広げていきます

【提案資料より】

JR東日本・各グループ会社 年末手当を回答

人材は「人財」 人件費は「コスト」ではない！

JR東日本
社員の労苦に報いていない
持ち帰り検討

JR東日本は、国労東日本本部が求めていた年末手当要求2.7ヶ月+5万円に対し、11月11日に「2.0ヶ月」の回答を行いました。（昨年2.2ヶ月）

東日本本部は、この間2回の交渉を行い、社員・組合員の生活実態、コロナ感染の恐れのある中でも業務を続けてきた事、社員が今までに無いような形でイベントなど増収に向けて取り組んでいることなどを訴えてきました。また、職場からは若手社員の離職も報告される中で、人材確保の観点からも国労要求に沿った支払いを求めてきました。

回答にあたり、JR東日本は「コロナ禍の中で、努力する社員に感謝する」としつつも「業績見合いなら0という企業もある中で、社員のこれまでの生活からの働きや、社員の生活など総合的に判断した結果」との最終回答である姿勢を崩しませんでした。

東日本本部は「日夜、

安全・安定輸送を担う社員の労苦に報いていない」として、再考を求めて持ち帰り検討としましたが、生活に配慮する事から、12日に妥結・整理を図ることにしました。

現在、JR東日本では組合未加入者が8割近い中、社員の声をどう伝え、要求を勝ち取るかが課題になっていきます。

コロナ禍の中で年間「4.0ヶ月」の支給に對する思いは様々ですが、将来への投資同様、社員への投資を求めするため、組織拡大、労働条件改善に向けて、全組合員がひとつとなり奮闘していきましょう。

LiviT
JR東日本
(東北総合サービス)
初の交渉

今年7月のLiviTとの労働協約締結後、年末手当が初めての交渉となりました。

11月1日に2.5ヶ月+3万円の要求を提出し、11月10日・16日に行われた交渉では、社員の生活実態、LiviTで離職が多く出ている実態や「魅力ある会社となるためには社員にとつても魅力のある労働条件が重要である」等を指摘、国労要求に沿った回答を強く求めました。会社からは、コロナ拡大の影響による厳しい状況が示された一方、組合とは真摯に議論していくことも示されました。

結果、18日に6期連続赤字の中で、今示せる内容として「1.2ヶ月」の回答がされ、その他の職場要求については「できることは行っていく」ことが示されました。（昨年1.4ヶ月）

今後もLiviTで働く社員の労働条件を改善に向け引き続き取り組み、労働組合だからできることをプロパー社員に広める必要性を認識しました。



交渉に臨むJESS組合員

JESS
JR東日本
(ステーションサービス)
初の赤字で
厳しい交渉に

JESSには10月26日、「2.5ヶ月+3万円」の年末手当要求を中心とした申し入れを行い、11月9日の交渉には東日本・常盤執行委員と、竹内特別執行委員、松浦・本間交渉委員のJESS組合員3人が出席しました。

交渉では会社から、将来に向けて新規採用の継続、タブレットやアプリのレンタル料がかさんでいること、新たに女子寮を借り上げていることなどが説明されました。

国労からは、社員の働き方や増収の努力、生活実態など、昨年取り組んだアンケートの「声」を訴え、満額支払いを求め

ました。併せて、手当以外にも水戸支店社員からの労働条件改善の要求も議論しました。

これに対し会社は「手当は業績によって変わる前提だが、生活設計の一部として見込み、安定支給を期待する声があることは承知している」との現状認識を示し、11月18日に「2.35ヶ月+1万円」の回答がされました。（昨年2.4ヶ月+2万円）

【JR各社の回答状況】

会社	要求	回答	支払日
北海道	2.5ヶ月	1.67ヶ月	12/14
東日本	2.7ヶ月+5万円	2.0ヶ月	12/3
東海	3.0ヶ月	2.2ヶ月	12/10
西日本	3.0ヶ月	1.25ヶ月+5万円	12/10
四国	2.5ヶ月	1.21ヶ月	12/7
九州	2.5ヶ月	1.32ヶ月	12/10
貨物	3.0ヶ月	1.67ヶ月	12/9
ソフトバンク	3.0ヶ月	2.5ヶ月	12/15

春闘に向け 賃金アンケート

59歳以下のJR東日本グループ社員の皆さんにお願いします。

がん治療を幅広く
まとめて保障するがん保険

アフラックの生きるためのがん保険 ALL-in

No.1 がん保険 医療保険 介護保険 生命保険 火災保険 自動車保険 旅行保険 傷害保険 賠償責任 保証金付 任意で加入可能

4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入 (日本はカーライフを長く楽しむ)

「生きる」を創る。アフラック 東京第二法人営業部
東京都港区西新橋2-1-1 新橋三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822